

◀資金需給▶

単位 億円

	18日需給速報		21日需給予想		22日当社予想	
	即日	金額	金額	金額	金額	金額
銀行券		▲ 4,000	▲ 3,700	▲ 4,000		
財政		400	62,400	▲ 1,000		
資金過不足		▲ 3,600	58,700	▲ 5,000		
貸出						
売出手形						
0						
本店共通						
0						
全店共通						
0						
共通(固定)		2,400	800	1,100		
63,365		▲ 9,200	▲ 1,300	▲ 200		
国債買現						
0						
CP買現						
0						
国庫短期証買入						
国庫短期証売却						
国債買入		11,100				
CP等買入		5,500	▲ 1,100			
		▲ 400				
貸出支援基金 (成長) 58,484 (増加) 271,714						
被災地支援						
3,161						
社債等買入		▲ 500	▲ 100			
ETF買入						
国債補完供給						
小計		8,900	▲ 1,700	900		
当増減		5,300	57,000	▲ 4,100		

当座預金残高	2,479,800	12/18以降の残り所要積立額	
準備預金残高	2,255,300		222,500
積み終了先	1,831,400	12/21以降の残り所要積立額	
超過準備	1,799,900	積数	73,700
非準備先残高	224,500	1日平均	2,800
積み期間(12/16~1/15)の所要準備額(積数)	2,040,700		
準備預金進捗率	96.39% (実績)	16.13% (日数)	

12/17のマネタリーベース		3,477,100	
12/17コール合計	227,220	無担	84,156
		有担	143,064
コール前日増減	計	8,259	無担
		9,349	有担
			▲ 1,090

12/18の加重平均レート(速報)			12/17の加重平均レート(確報)			単位(%)
無担(平均)	有担(平均)	CP気配a-1	無担当日分	無担先日付分	有担当日分	有担先日付分
0.060 ~0.125 (0.075)	0.030 ~0.040 (0.031)		O/N 0.060 ~0.125 (0.089)		0.030 ~0.040 (0.031)	
0.070 ~0.130 (0.084)			T/N	0.070 ~0.121 (0.078)		
			S/N			
0.117 ~0.130 (0.120)			1W	0.130 (0.130)		
			2W	0.117 (0.117)		
0.114 (0.114)			3W			
		0.07-0.12	1M	0.117 ~0.280 (0.122)		有担先日付分
		0.07-0.11	2M	0.118 (0.118)		
		0.07-0.11	3M			
		-	6M			
		▲0.096-▲0.086	1Y			
		-				
		▲0.09				

◀オペ情報、入札結果▶

全店共通 15,000億円 12/22 ~ 4/1 (101日間) 応札 1,100億円 落札 1,100億円 0.100% 全取 平均 0.100% (固定)  
 国債補完 4,000億円 12/18 ~ 12/21 (3日間) 0億円 0億円 0% 按分 平均 (即)

◀日銀金融政策決定会合・結果▶

- ・マネタリーベースが、年間約80兆円に相当するペースで増加するよう金融市場調節を行う。(賛成8反対1)
- ・資産の買入れについては、以下の方針を継続する。(賛成6反対3)
  - ①長期国債について、保有残高が年間約80兆円に相当するペースで増加するよう買入れを行う。ただし、イールドカーブ全体の金利低下を促す観点から、金融市場の状況に応じて柔軟に運営する。買入れの平均残存期間は、本年中は7年~10年程度、来年中からは7年~12年程度とする。
  - ②ETFおよびJ-REITについて、保有残高が、それぞれ年間約3兆円、年間約900億円に相当するペースで増加するよう買入れを行う。
  - ③CP等、社債等について、それぞれ約2.2兆円、約3.2兆円の残高を維持する。
- ・「量的・質的金融緩和」を補完するための諸措置の導入
  - 1.設備・人材投資に積極的に取り組んでいる企業に対するサポート
    - (1)新たなETF買入れ枠の設定(賛成6反対3)
    - (2)成長基盤強化支援資金供給の拡充(全員一致)
    - (3)貸出支援基金等の延長(全員一致)
  - 2.「量的・質的金融緩和」の円滑な遂行のための措置
    - (1)日本銀行適格担保の拡充(全員一致)
    - (2)長期国債買入れの平均残存期間の長期化(賛成6反対3)
    - (3)J-REITの買入限度額の引き上げ(賛成6反対3)

「このレポートは、参考資料としてのみ作成しております。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。」

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入

◀ 12/21の日銀調節とレート予想 ▶					
日銀調節	見送り	当座預金残高	2,536,800	前日比	57,000
O/N	0.07~0.08	T/N	0.07~0.12	S/N	0.07~0.12
無担O/Nは0.075%前後での出合いが中心になると見込まれる。					

◀ 18日のインターバンク市場動向 ▶  
 午前8時発表の準備預金残高見込みは、前日比1兆5,000億円増の185兆6,000億円(当座預金残高見込みは、248兆1,000億円)。朝方の無担O/Nは、地銀、信託の0.074~0.075%、大手行からは0.073~0.075%の調達希望。出合いの中心は0.074~0.075%となった。一巡後は徐々にビッドが消え、0.07~0.075%での出合いが散見されつつ、本日の取引を終えた。ターム物に関しては、目立った出合いは見られなかった。本日開催された日銀金融政策決定会合では、「『量的・質的金融緩和』を補完するための諸措置の導入」が決定された。

◀ 18日のオープン市場動向 ▶  
 現先レートは引続き小高く推移。短国市場は3Mが朝方に▲0.02%の出合いが見られた他、引け際に1Y▲0.09%、6M▲0.096~▲0.086%の出合いが見られた程度であった。CP市場は機械業態でまとまった発行が見られ、総額1,200億円程度の出合い。発行レートは引続き落ち着いた水準で推移した。

◀ 21日の材料 ▶  
 \*金融経済月報  
 \*月例経済報告

◀コール11月積み期間分の加重平均レート▶				
(土日を含む)	無担	0.07697%	有担	0.03100%
(営業日のみ)	無担	0.07714%	有担	0.03100%

JGB新発10年債	0.265	▲ 0.030	日経平均株価(終値)	18,986.80	▲ 366.76	為替(9時)	122.45-47
						為替(5時)	121.79-81

O/N加重平均レートと日銀当座預金残高及び準備預金残高の推移						
日付	12/11	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18
日銀当預残	2,406,100	2,394,600	2,462,000	2,476,200	2,474,500	2,479,800
準備預金残	2,195,700	2,188,400	2,250,500	2,264,700	2,241,500	2,255,300
レート	0.076%	0.076%	0.076%	0.076%	0.089%	0.075%
月中平均	0.07631%	0.07629%	0.07627%	0.07625%	0.07700%	0.07670%